**令和元年度　大阪府大阪市南部保健医療協議会　議事概要**

日時： 令和２年１月15日（月）午後2時～3時05分

場所： 大阪市西成区民センター　１階ホール

出席委員：23名（委員総数33名）

（芳野委員、柳田委員、藤井委員、岡委員、白木委員、藤村委員、覺道委員、荒木委員、水井委員、原田委員、髙﨑委員、栗生委員、髙岡委員、中野委員、美濃委員、上田委員、佐田委員、後藤委員、宮川委員、飛田委員、安藤委員、松本委員、寺澤委員）

■**議題（１）2019年度「地域医療構想」の進め方と進捗状況について**

**■議題（２）大阪市二次医療圏における地域医療構想の進捗状況について**

**■議題（３）第2回病院連絡会結果の概要について**

**（資料に基づき、大阪府保健医療室、大阪市健康局から説明）**

【資料１】2019年度「地域医療構想」の進め方と進捗状況

【資料２】大阪市二次医療圏「地域医療構想」の進捗状況

【資料３】第２回病院連絡会結果の概要（大阪市二次医療圏）

**【主な質問・意見とその回答】**

　　特に意見なし。

**■議題（４）大阪市二次医療圏における第７次大阪府医療計画の取組状況の評価について**

**（資料に基づき、大阪市健康局から説明）**

【資料４】第7次大阪府医療計画ＰＤＣＡ進捗管理票

**【主な質問・意見とその回答】**

（質問）災害医療について、住之江区の小学校周辺で行われている災害訓練は、訓練

自体が従来の地震等を想定したもので、水害による災害についての対応がされていないと

思う。大阪市としてどのように考えているのか。

（大阪市）防災訓練に関しては地震や津波に対して行っている状況である。水害に関しては、起きた後の訓練よりも事前の周知や避難行動が重要と考えている。訓練には至っていないが、避難行動についての周知、啓発について現在取り組んでいる。区役所を通じて地域や市民の方に今後啓発していきたい。

（大阪市）住之江区では、津波に対する洪水を踏まえた活動を考慮し、防災訓練のテーマを変えながら、取り組んでいる。

**■議題（５）大阪府外来医療計画（素案）について**

**（資料に基づき、大阪府保健医療室から説明）**

【資料５】大阪府外来医療計画概要（素案）

**【主な質問・意見とその回答】**

（質問）歯科医師も地域医療に貢献しているが、歯科医師の新規開業についても、今後意向書の提出は必要になるのか。意向書は、医師会入会者のみに提出を求めるのか。

（大阪府）大阪府外来医療計画は、国のガイドラインに基づき作成しており、一般診療所を開設する医師が対象であり、歯科医師に対して意向書を求めるものではない。また、意向書については全ての新規開設者に提出を求めていく。

（質問）休日夜間診療所や学校医、産業医等について、医師会員で調整している現状があるが、

全ての新規開業者に意向書を求めるのか。

（大阪府）今後は、詳細なスキーム等を作成する必要があると考えており、外来医療計画として行政から意向書を求めていく。国のガイドラインに基づくものであり、法的拘束力があるものではないため、意向書の提出が無いから開業できないというものではない。今後は、外来医療機能の見える化により地域医療の姿を把握してもらい、啓発に務めていきたい。

（意見）新規開業者への対応については、各協議会等の意見を聞きながら、行政とも調整していきたい。外来医師多数区域とあるが、医師会としては納得できないため厚労省に申し入れている。

**■議題（６）その他**

（弘済院附属病院）

・市立住吉市民病院跡地における新病院設置にかかる現在の状況について説明。

（意見）「住吉市民病院の医療機能を求めるママの会」から、市民病院の跡地に同等の機能を有した病院があったらとの思いを記した手紙をいただいた。大阪市立大学が新たに病床を確保することは素晴らしいことだと思う。この協議会で何度か決議したが、基本的には地域の声をしっかり聴いた上で病床を確保していただきたいということは確認せざるを得ない。市民からこのような声が出ないようお願いする。

（意見）同様に、「地域医療を充実させる市民の会」から新病院に小児周産期の病床を設置してほしい旨の手紙が届いている。

終了